

背景・目的

- 多様な世代が共生し支え合う「ミクストコミュニティ」の形成には、基盤となる地域コミュニティが重要
 - 兵庫県の団地再生事例（明舞団地）のうち地域コミュニティの再生に焦点を当てて調査
 - 兵庫県による取組
 - 住民主体による取組

兵庫県による取組

- 住民主体による団地再生を促す取組
 - NPO活動誘致事業（2003年）
 - 明舞まちづくりワークショップ開催（2003年）
 - 明舞団地再生計画策定（2004年）（→明舞団地まちづくり計画策定（2017年））※ 等
※明舞まちづくり委員会(住民、行政、学識者等)が策定



NPOひまわり会



めいまい図書館

➡ 兵庫県による支援を受けた住民による持続的な3つの取組を調査（NPOひまわり会、明舞サポーター会議、めいまい図書館）

住民主体による取組

活動名(活動開始年)	主な取組内容	取組に至る動機	活動体制	主な活動資金	開始時の兵庫県による支援
NPOひまわり会 (2003年)	・食堂の運営 ・弁当の配食 ・交流イベント実施	食を通じた福祉コミュニティづくり	ボランティア47名	食事代、年会費、寄付	NPO活動誘致事業
明舞サポーター会議 (2016年)	・レンタルスペース運営 ・イベント企画・開催	明舞団地の活性化	スタッフ5名	スペースレンタル料、モデル事業委託(兵庫県)、実習生受入れ事業費(大学)	兵庫県が国から交付された地方創生に関する予算より支援
めいまい図書館 (2024年)	・ひとはこ図書室※ ※30センチメートル四方の棚を小さな図書館に見立て、棚を利用者に貸し出す取組	地域の居場所づくりの必要性	代表者1名 本棚オーナー約30組	本棚使用料、カフェ売上げ、委託事業費(大学)	オールドニュータウン商業施設等空き区画活用支援事業

住民による各取組に共通する特徴

- ①住民自らの問題意識に基づく取組の開始（課題を認識する機会を兵庫県が提供）
- ②開始時の兵庫県による経済的支援の効果的な実施
- ③自走化を見据えた活動体制・資金体制の構築(①の兵庫県が提供した機会も寄与)

➡ 兵庫県が取組当初から団地再生の主体として住民を念頭に置き、住民活動を支援してきたことが効果的であったと確認